

授業科目名	社会学	担当教員名	西牟田 真希
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	社会学の基本的概念を学ぶことによって現代社会の課題や諸問題を理解し、社会学的なものの方、考え方ができるようになることを目標とする。 (1)現代社会の特質について理解する。 (2)現代社会における家庭や地域の特徴について理解する。 (3)現代社会における社会問題について理解する。 (4)社会問題と社会福祉の関連について理解する。		
授業の概要	日常生活をおくるさまざまな人々の文化 (生活文化) のあり方や視点、考え方 (思想・欲望)、関わりのある場所・所有物 (環境) を切り口に見ていく。社会の中で昔からある・残っていることの意味 (= <遺産化>) というキーワード・概念) について理解する。		
テキスト	授業中適宜プリントを配布する。		
参考書・参考資料等	木村至聖・森久聡編『社会学で読み解く文化遺産——新しい研究の視点とフィールド』(新曜社、2020) その他は、授業中適宜指示する。		
成績評価の方法	授業態度等平常の評価と授業中課題 (40%)、筆記試験 (60%)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション 社会学とはどのような学問なのか。(生活文化)と<遺産化>の関連とは何かを考える。		
第2回	視点 (1) 文化を保存する 昔からある、今も日常生活に残っている文化 (生活文化) とはどのような共通点・性質をもつか。残していく (保存する) しきみを考える。		
第3回	視点 (2) <遺産化>の根拠 なぜ価値があるのか 文化にどのような価値づけをしていくか。専門家のお墨つき、「本物らしさ」と生活文化について考える。		
第4回	視点 (3) <遺産化>の拡大 どのように保存してきたか 地域の保存運動・まちおこしは、何をもたらしたか。地域づくりの理想と困難について考える。		
第5回	思想 (1) 国家と文化 誰が守る役割をしてきたか 国と地域の文化へのかかわり方を考える。国家がもたらす生活文化を守る役割を考える。		
第6回	思想 (2) 地域と文化 誰が守る役割をしてきたか 国と地域の文化へのかかわり方を考える。地域がもたらす生活文化を守る役割を考える。		
第7回	思想 (3) 文化と経済 文化と経済のバランスをどうとるか 財政難のときに文化財にお金を優遇するべきか。または積極的な財政確保に利用する (お金を儲けていく) のがよいか。社会システムと文化行政の関係を考える。		
第8回	欲望 (1) 異文化へのあこがれとなつかしさ 人々は過去にあった生活や文化に何を求めるのか。現代社会でのノスタルジー観 (あこがれとなつかしさ) について考える。		
第9回	欲望 (2) 文化を所有する コレクター・コレクション 博物館で文化財を保管して展示するように、合理化が進んだ現代社会での「コレクション」(所有欲) について考える。		
第10回	欲望 (3) 文化を消費する コレクター・コレクション 個人のグッズ収集など、「コレクション」にはまる人と生きる実感 (消費欲) について考える。		
第11回	環境 (1) モノと意味 生活文化に関わりのある物 (所有物) に私たちはどのような意味づけをしているか。社会にどのような影響をもたらすかを考える。		
第12回	環境 (2) 場所と意味 生活文化に関わりのある場所 (環境) に私たちはどのような意味づけをしているか。社会にどのような影響をもたらすかを考える。		
第13回	環境 (3) 景観と場所 「美しい町並み」や「SNS映えする場所」とはどうか。生活文化に関わりのある場所からインターネット時代の社会の方向性を考える。		
第14回	環境 (4) 景観と保存 町並みを残す・保存する (= <遺産化>) は社会的現実感や意識のあり方をどのように変えたかを学ぶ (教科書出版以前～現代までを含む)。		
第15回	総まとめ		
定期試験	筆記試験		